

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。

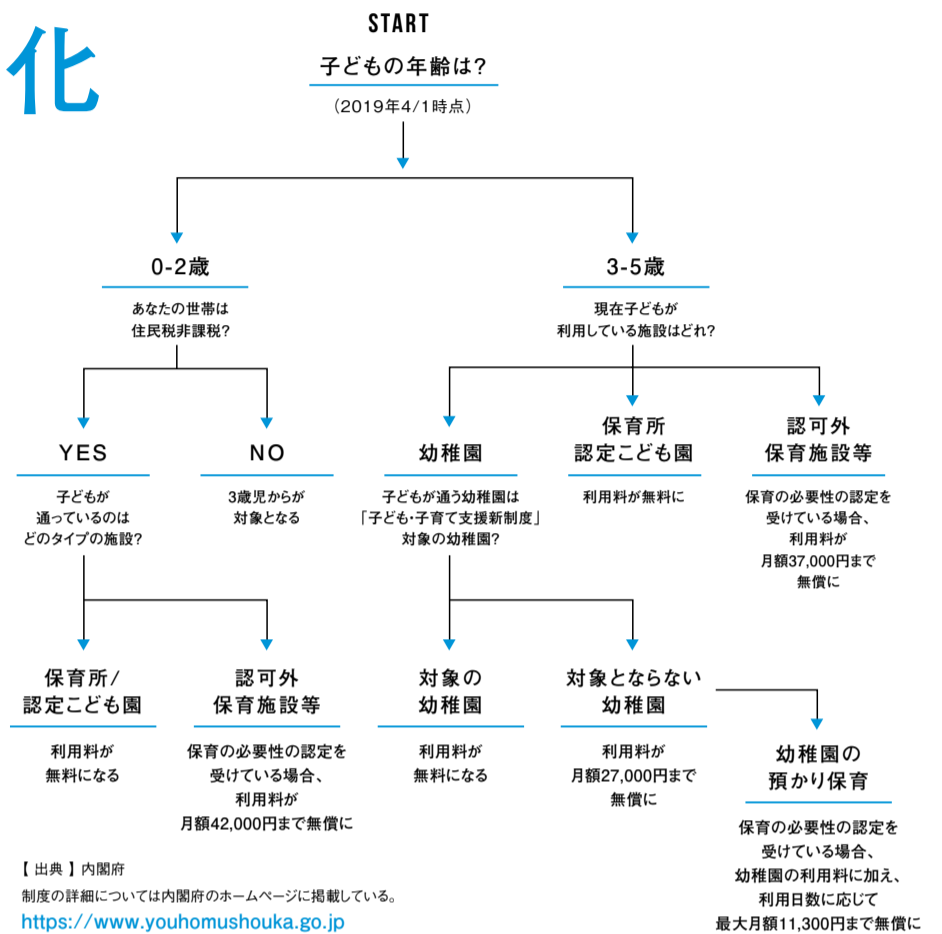


シティライフNEWS で検索

何がどう変わる 幼児教育・保育の無償化

今年の10月1日から実施された「幼児教育・保育の無償化」。無償化には所得制限はあるのか、預かり保育や給食費も対象になるのか、制度利用の手続きなどをまとめてみた。

【うちの子どもの場合?】



保育料は無償化になるが 一部自己負担も

無償化の対象は3~5歳児のすべての世帯、0~2歳児は住民税非課税世帯(一定の年収条件を満たした住民税がかからない世帯)。申請は不要で、新たな手続きをすることなく新制度に移行される。ただ、保育料すべてが無償化されるのではなく、月額通園送迎費、食材料費、行事費、延長保育料などは減額などの変更はない。ただし、年収360万円未満相当の世帯と、全世帯の第3子以降は副食(おかず、おやつなど)の費用が免除される。例えば、認定こども園に通う4歳の子がいる場合だと、保育料は無料になり、給食や行事にかかる費用、制服、体操服の購入費用などは負担となる。

児童発達支援、医療型児童発達支援などの障がい児の発達支援施設は3歳

から小学校入学までの3年間は無償となるが、利用費以外(医療費、食材料費など)は負担のまま。企業主導型保育事業(企業がつくる認可外保育施設)はこれまでの利用料から年齢に応じた一定の金額が減額される。

上限を設けた 一部補助のサービスも

利用する施設によっては一部補助といった場合もある。子ども・子育て支援新制度の対象外の私立幼稚園は、月額25,700円(国立大学附属幼稚園は8,700円)まで無償化される(子ども・子育て支援新制度の対象については、通園している園または各市町村に確認を)。また、認可外保育施設(一般的な認可外保育施設、一時預かり事業、ベビーシッター事業など)を利用する場合は月額37,000円(3~5歳児)、月

額42,000円(住民税非課税世帯の0~2歳児)まで、幼稚園の預かり保育を利用する場合は最大月額11,300円までが無償化される。

補助される利用料は市町村から直接

支払われるので、差額が発生した場合のみ各施設への支払いが必要となる。これらの施設は無償化になるための申請が必要な場合もあるので、各施設、住まいの市区町村に確認を。

具体的な動きを見せ始めた 夢洲へのIR誘致

2025年、大阪・夢洲にて万国博覧会(万博)が開催される。開催に向けて着々と準備が進められるなか、大阪府と市ではもう一つ大きな事業の準備が進められている。それが、「IR誘致」だ。IRとは、Integrated Resortの頭文字で総合型リゾートと呼ばれるもの。民間事業者がホテル、カジノ、スタジアム、アミューズメント、コンベンション、ショッピングモール、ギャラリー等の施設を一体的につくり、運営する。総合型リゾートの創出に成功すれば、外国人観光客を中心としたにぎわいが生まれることが予測され、地域経済活性化につながると注目されている。

日本初となるIRの設置場所は、政府が全国で最大3か所の自治体を認定する。現状候補地としてあがっているのは、大阪(夢洲)のほかに、北海道(苫小牧、留

寿都)、千葉(幕張)、和歌山(マリーナシティ)、長崎(ハウステンボス)など。今年8月には、横浜(山下ふ頭)もIRの誘致を発表した。大阪・関西万博の会場と同じ夢洲地区を候補地とする大阪府と市は誘致に向けての準備に早い段階から取り組み、「大阪IR基本構想」を策定、2014年には基本コンセプト案を発表している。他の自治体に比べて先行準備が進んでいる大阪・夢洲が選定される可能性はどうか高いようだ。

大阪府と市では2025年の万博開催時期での開業を目指しており、今年9月に事業者からコンセプト案を募集した。3社が手をあげたが、そのうちの1つは米IR大手のMGMリゾート・インターナショナルとオリックスの共同グループ。MGMリゾート・インターナショナルは世界各地でIRを運営している企業で、ラスベガスを中心と



夢洲IRの施設の構想(案)「大阪府・大阪市IR推進局から提供」

した大規模ホテルの展開、ショッピングモールや劇場、映画館、国際会議場などを運営している。府と市は、年度内には事業者の公募と選定を予定しているが、同グループは有力な候補として名前があがっている。

仮に大阪・夢洲が候補地として認定されIRが誕生した場合、大阪・関西万博開催とあわせた経済波及効果は大きなことになるだろうと期待してやまない。

台風19号で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
一日も早く普段の生活に戻られるよう祈っております。

株式会社シティライフNEWS